

### 窓口・生協の営業時間は適切?

## 読者の声 工学部第二部の存在を 忘れないでほしい

本紙が葛飾キャンパスで5月に行った投書で工学部第二部電気工学科の学生から、次のような意見が寄せられた。

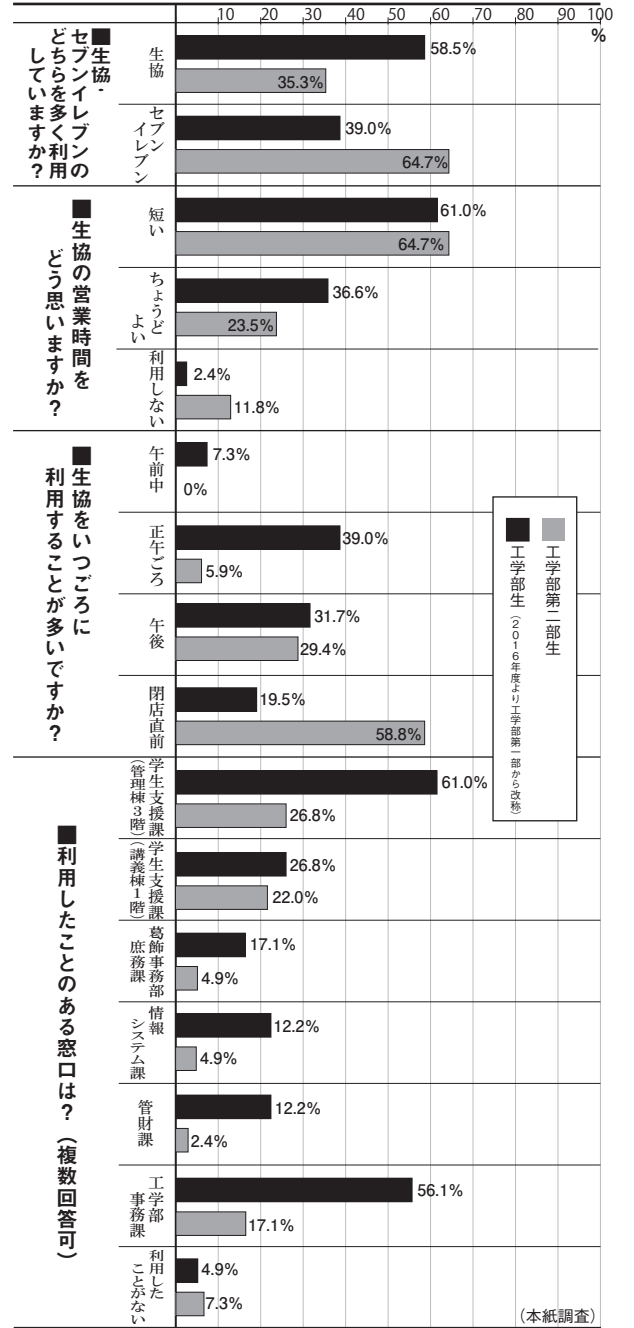
「生協・管財課を利用できる時間を見直してほしい。募集していない学部とはいえ、最後の世代が卒業するまでは、二部生の存在を忘れないでほしい。セブンがあるから開いていいという訳ではない。現在は生協が18時、管財課が17時に閉じてしまうが、それぞれ19時まで(欲を言えば生協は20時まで)利用できるようにしてほしい」

## 二部生は生協よりセブンを利用

そこで今回、葛飾キャンパスに通う学生(工学部第一部▽情報工学科2年▽電気工学科2年▽建築学科2年、工学部第二部▽建築学科4年▽経営工学科3・4年)を対象に、Google Formでアンケートを実施し、58名から回答を得た。工学部第二部が神楽坂か

### 葛飾キャンパス 施設利用実態調査

(工学部・工学部第二部在籍の1~4年生 58人から回答)



## 二部生の窓口利用は困難か

### 利用率は一部生を大きく下回る

葛飾事務部庶務課で4・9割(一部生は17・1割)などとなっており、調査を行ったいづれの窓口においても一部生の利用率を大きく下回っている。

また、投書で指摘のあった管財課の利用時間については「利用しないので関係ない」と回答した一部生が61・0割、二部生が64・7割と多数を占めた。これに

## 視点

近年、学生が地方から東京へ流入する傾向が続いている。一方で、地方では、定員割れにより、経営難に苦しむ大学が後を絶たない。文科省は、学生の東京一極集中を是正するため、東京23区にある大学の定員増を認めないという規制を2018年度から実施する方針を決めた。それに伴い、昨年度から23区の各大学の入学定員を増やす駆け込み申請が相次いでいる。

## 神楽坂

### 文科省、23区の大学定員規制 入学者定員増の駆け込み申請 校舎狭隘問題の解消を

本校でも2017年度入試より神楽坂地区の理学部第一部および工学部の6学科の入学定員増をそれぞれ20名、計120名の定員増を行った。しかし、校地が狭隘な神楽坂キャンパスにおいて、今回の更なる定員増によって、教育研究環境の悪化が懸念される。2016年5月現在、神楽坂キャンパスにおける学生1人あたりの校地面積は3・08㎡/人、教育用施設面積は1・45㎡/人となっている。これは文科省が定める大学設置基準

の、学生1人当たりの校地面積10㎡/人を大きく下回っている。授業と授業の間の休み時間では、教室や廊下、生協が大勢の学生で溢れている。

**Campus Actor**  
全国の高校で開催される「進路ガイダンス」の登録制アルバイト  
◆進路イベント内で高校生の相談に応じるアドバイザー  
◆進路・進学イベントスタッフなど、  
若者に熱いメッセージを送りたい人募集中!  
株式会社 ライセンスアカデミー(事務局) 03-3360-6307

## 記者の目

今回のアンケート調査は、二部生の投書により実現した。工学部第二部は2016年度より募集を停止しており、現在在籍する学生の卒業をもって廃止される。しかし、学生が支援を受けられる環境づくりは、大学側の責務であり、二部生の窓口利用率が一部生より極端に低いことは大きな問題である。大学窓口の扱

## 平等な機会を

優秀な学生が経済的困窮を理由に進学を断念することのないよう、給付型奨学金「新生のいぶき奨学金」制度が新設される。これは、自宅からの通学が困難な学生を対象に本学が経済的支援を行うことを目的としている。この制度による奨学金の支給は、2019年度以降の入学者が対象となる。

## 『新生のいぶき奨学金』新設 給付型の奨学金で経済支援を充実に

奨学金は人物・学力ともに優秀で経済的に就学の困難な人に対し、給付もしくは貸与される。今回新設される「新生のいぶき奨学金」を受給するには①来年度からの入学者、②前年の世帯収入が、給与所得世帯においては700万円未満、給与所得世帯以外では292万円未満の者、③自宅からの通学が難しい者、の三条件を満たす必要がある。また、屋間学部の初年度納付金は約160万円であるが、夜間学部である理学部第二部は約90万円と低く抑えられている。そのため理学部第二部の入学部学生・大学院学生(専門職大学院を含む)に対し貸与型の奨学金制度「東京理科大学奨学金」を行っていた。しかし「新生のいぶき奨学金」新設に伴い、2019年度入学者からの東京理科大学学部奨学金・東京理科大学大学院奨学金(専門職大学院を含む)を廃止した。

## 記者の目

### 「給付型」奨学金 学びのチャンスに

近年、奨学金を返済できずに自己破産してしまう人が急増している。日本学生支援機構が貸与型奨学金の回収を強化するなど、奨学金が「学生ローン」と化しているのだ。本学の貸与型奨学金の場合も、返済金を滞納してしまつた場合、延滞金が元金に上乗せされていた。返済の